

## あ い さ つ

京都府高等学校体育連盟

会長 角 井 弘 之

(京都府立東稜高等学校長)

平成 29 年度京都府高等学校体育連盟「高体連誌第 57 号」の発刊にあたり、ごあいさつ申し上げます。

今年度も、本連盟では諸会議（理事会・評議員会、専門委員長会議、中・高連携会議）をはじめ、多岐にわたる各種体育・スポーツ振興事業（選手派遣、大会開催、競技力向上、研究調査、広報、一般生徒対象事業）を展開してまいりましたが、加盟校・各専門部の皆様の御支援、御協力によりまして無事に終えることができましたこと、誌面ではありますが、心から厚くお礼申し上げます。また「70 周年記念式典」には、京都府、京都市、府内各市町村をはじめ、京都府並びに京都市教育委員会など多くの関係機関からも御臨席を賜り、盛大に開催できましたことを改めまして感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、今年も京都府選手団は山形県を中心に開催（南東北ブロック）された全国高等学校総合体育大会や冬季に行われた全国大会、全国定時制通信制体育大会、その他の体育大会において、団体種目では陸上競技、ウエイトリフティング女子競技の優勝を含め入賞数 16、個人種目でも陸上競技、柔道、レスリング、ウエイトリフティング女子競技の優勝を含め入賞数 91 となるなど、大いに活躍してくれました。また、全国都道府県対抗女子駅伝競走大会でも高校生が活躍し、見事に 2 位となり、都大路を沸かせてくれました。

2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催を 2 年後に控え、高校生世代への育成強化が力強く進められる一方で、学校運動部活動の在り方そのものが部顧問・生徒双方の立場から検討されています。文部科学省、スポーツ庁からは適切な休養日の設定が通知されるなど、年度内には「部活動に係る総合的なガイドライン」が示されるところです。本連盟といたしましても、時代の変化に対応しながら、運動部活動の学校教育活動としての意義を再認識し、一人ひとりの高校生が人生の財産となるような、かけがえのないスポーツ体験を通じて、素晴らしい人間力を身に付けることができるよう、関係者一同、力を合わせて取り組んでまいり所存です。

結びに、本連盟に対しまして、暖かい御支援、御協力をいただいております関係の皆様方に重ねてお礼を申し上げまして、発刊のごあいさつとさせていただきます。